

学の社会性について検討を行った。

考察・まとめ

これら一連の研究により、社会と疫学研究(者)を結

ぶ橋を架けることを試み一定の効果を挙げた。これらの研究を通じて、厚生労働行政施策の基盤を成す疫学研究が適切に行われる方法が具体的に提示され、ひいては国民の健康増進に役立つことが期待される。

**厚生労働行政施策の基盤となる疫学研究の適切な推進に関する研究
研究班名簿**

主任研究者

玉腰暁子 国立長寿医療センター

分担研究者

小橋元 北海道大学大学院医学研究科老年保健医学

佐藤恵子 京都大学大学院医学研究科

杉森裕樹 聖マリアンナ医科大学予防医学

中山健夫 京都大学大学院医学研究科健康情報学分野

丸山英二 神戸大学大学院法学研究科

武藤香織 信州大学医学部保健学科

山縣然太朗 山梨大学大学院医学工学総合研究部社会医学

研究協力者

石川鎮清 自治医科大学地域医療学

大神英一 早良病院

太田薫里 千葉大学公衆衛生学

尾島俊之 自治医科大学公衆衛生学

酒井未知 京都大学大学院医学研究科医療疫学分野

鈴木美香 独立行政法人理化学研究所

内藤真理子 名古屋大学大学院医学系研究科予防医学/医学推計・判断学

鷺尾昌一 札幌医科大学医学部公衆衛生学

2004-05 年度研究業績

- Tamakoshi A. Informed consent in epidemiologic research before the implementation of Ethical Guidelines. *J Epidemiol* 2004;14:177-81.
- Naito M, Nakayama T, Ojima T, Kobashi G, Muto K, Washio M, Ishikawa S, Maruyama E, Ohgami E, Sakai M, Sato K, Sugimori H, Suzuki M, Takahashi F, Yamagata Z, Tamakoshi A. Creating a brochure to promote understanding of epidemiological research. *J Epidemiol* 2004;14:174-6.
- 玉腰暁子. 公衆衛生活動に伴う疫学研究と倫理. *公衆衛生*2004;68:889-92.
- 玉腰暁子. 医学研究とプライバシー保護. *Dr's Square* 2005;6:6-7.
- 玉腰暁子. 8章疫学研究と倫理ガイドライン. 青山英康 (監修), 川上憲人, 甲田茂樹 編. *今日の疫学* 第2版. 東京: 医学書院, 2005: 205-210.
- 玉腰暁子. 分子疫学コホート研究と個人情報保護. 文部科学省特定領域研究「ゲノム」4領域, ゲノム医科学ネットワーク委員会, 統合ゲノム社会との接点委員会 編. *ゲノム医科学と社会 個人情報の保護を中心に2*. 東京: 文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「ゲノム」4領域ゲノム医科学領域代表 菅野純夫, 2005: 67-78.
- 鷲尾昌一, 武藤香織, 玉腰暁子. 疫学研究に関する倫理指針(文科省・厚労省共同指針)に対する医大生の感想. *日本医事新報* 2005;4214:57-8.
- 小橋元(監修). 先端医療技術と社会との調和. *Sub Note 公衆衛生*2005. *メディックメディア*編・発行, pp7-8, 2004.
- Kobashi G, Hoshuyama T, Sugimori H, Oki I, Kadowaki T, Kanda H, Otani T, Iwasaki M, Naito M, Takao S. What expectations do young Japanese epidemiologists have for the future of epidemiology? A questionnaire survey of members of the Young Epidemiologists Society for discussing the future of epidemiology. *J Epidemiol* 2004;14:69-71.
- Kobashi G, Hoshuyama T, Ohta K, Sugimori H, Oki I, Kanda H, Naito M, Takao S, Tamakoshi A. Young Epidemiologists' Attitude towards Personal Data Protection. *J Epidemiol* 2006;6:90-92.
- 佐藤恵子. 近年の生命倫理指針の動向と問題点. *刑法雑誌* 2004;44:65-81.
- Hara S, Sugimori H, Yoshida K, Tofukuji I, Kubodera T. Health Data Transfer Protocol -The Health Data Markup Language (HDML). *Medinfo*. 2004;2004(CD):1630.
- 吉田勝美, 杉森裕樹. 論文記載に関する倫理的配慮について. *Health Sciences* 2004;20(3):322-324.
- 杉森裕樹, 清田礼乃, 大神英一, 加藤聡一郎, 小橋元, 鷲尾昌一, 中山健夫, 玉腰暁子. 医学研究分野の個人情報保護—米国大学におけるHIPPA導入事例—. *放射線科学* 2005; 48: 166-179.
- Nakayama T, Sakai M, Slingsby BT. Japan's ethical guidelines for epidemiologic research: A history of their development. *J Epidemiol* 2005;15:107-12.
- Nomura H, Nakayama T. The Japanese healthcare system: The issue is to solve the "tragedy of the

- commons” without making another. BMJ 2005;331:648-9.
- Nakayama T. Evidence-based healthcare and health informatics: Derivations and extension of epidemiology. Epidemiol (in press)
- 中山健夫(分担翻訳). ミュア・グレイ著,根拠に基づく保健医療(津谷喜一郎・高原亮治 監訳). 東京:エルセビア・ジャパン, 2005.
- 内藤真理子, 中山健夫. 健康政策への応用. 青山英康 (監修), 川上憲人, 甲田茂樹編. 今日の疫学 第2版. 東京: 医学書院, 2005.
- 丸山英二. 生命科学研究に関する政府指針管見・SRL 宝函 2004;28(1):42-46.
- 丸山英二. 医学研究における個人情報保護・宇都木伸・菅野純夫・米本昌平編『人体の個人情報』(日本評論社)2004;127-150.
- 丸山英二.個人情報保護法,分子細胞治療2005;4:67-70.
- 丸山英二.「人体情報に関する生命倫理基本法」(「人倫研プロジェクト」ワーキンググループ・提言「身体・組織の利用等に関する生命倫理基本法」(4)——(4)提言・その4) 北大法学論集2005; 56:1486-1461.
- 丸山英二.シンポジウム「生命倫理と法」アメリカ,比較法研究2005;66:13-24.
- 武藤香織. 医療と研究の資源としての家族:ポスト・ゲノムの時代に, 季刊 家計経済研究 2004;No.62.
- 武藤香織. 倫理委員会の明日はどっちだ!? 患者のための医療 2004;9:79-83.
- 武藤香織.「知らないでいる権利」を行使するために, 科学 2004;74(5).
- 辻省次, 武藤香織, 樋口範雄.「case1 遺伝病の告知」, ジュリスト増刊「ケース・スタディ 生命倫理と法」2004.